

令和 7 年度認知症初期集中支援推進事業の取組みについて

【令和 6 年度の取組①】包括チーム対象の事例検討会を実施

実施日時：令和 6 年度 12 月 25 日

実施内容：研修「初期集中支援チームの経緯・チーム活動について」・グループ演習「事例から考えよう」

参 加 者：28 包括 29 名

→実施後アンケートにより、『グループワークでの研修は効果的だと思う』が 83%と好評。

一方で、「全体の動きや書類の書き方等、具体的な動きとしてのイメージがつかみにくい」、「チームとしての関わり方の実感がわからない」「ロールプレイの映像で表現してほしい」などの意見もあった。

【令和 7 年度の取組①】事例検討会の実施

- ・アンケート結果をもとに実施方法を改善（ロールプレイの映像の導入、事例検討から書類作成まで一連の流れの体験など）
- ・疾患センターチーム（静岡てんかん・神経医療センター）や、かけこまちの職員等の参加を検討。

【令和 6 年度の取組②】担当包括の設定

包括チームにチーム活動を経験してもらうため、3 チーム（各区 1 チームずつ）担当の包括支援センターを設定。普段なら総合相談で対応できるものでも、初期集中支援の対象ケースとして対応し、チーム活動の実践を依頼した。

※R6 担当：安西番町・小鹿豊田・松原

→担当の地域包括支援センターのチーム活動実績はほとんどなかった。（相談受付のみ 1 件）

【令和 7 年度の取組②】担当包括の追加

令和 6 年度の担当には継続して実践を依頼。今年度、新たに 3 チームの担当を追加し、計 6 チームに実践経験を積んでもらう。

※R7 担当：城東・八幡山・両河内

【令和 7 年度の取組③】他市の照会

静岡市とチームの配置等の体制が似ており、実績が多い市（名古屋市・大阪市など）に状況や手法について照会する。